

取扱説明書

取付け前及びご使用前に必ずお読みください。
 本書はお読みになった後も、本製品の側に置いてご活用ください。
 ご使用中にわからないことや、不具合が生じた際に便利です。



Pursuing the Ultimate in Engine Performance and Efficiency.
 HKS Company Limited.

C98911-K00549-00
 2014年 4月25日発行
 Ver.3-1.01

はじめに

この度はHKS OB-LINK TYPE-001をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
 OB-LINK TYPE-001は、車両のOBD II カプラーに接続するだけで、車両情報（エンジン回転数・水温・油温・A/F補正值・A/F学習値・燃費・ブレーキ・舵角・走行距離等）とエンジンの故障状況をモニタリングし、その情報をBluetoothにて発信する装置です。

AndroidやiOS端末に専用アプリケーション(CarscopePlus, OB-BRIDGE)をインストールする事により、OB-LINK TYPE-001からの情報を表示することができます。

OB-LINK TYPE-001はログ機能を搭載しています。専用のアプリケーション(OBLink LogManager)でロギング設定を行うと、OB-LINK TYPE-001にログデータが蓄積され、OBLink LogManagerで読み出す事が出来ます。

商品名	OB-LINK TYPE-001
用途	車両情報無線 (Bluetooth) 送信装置
コード No.	44009-AK002

- 本書は本製品を安全に使用していただき、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するために守っていただきたい注意事項を示しています。
- お客様、又は第三者が本製品及び付属品を誤使用したことにより受けた損害については、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品はノーマル車両及びHKS製品取付け車両を基準に開発されており、上記車両以外に取付けた場合は、本製品の機能・性能及び安全性について保証いたしかねます。
- 本製品は、DC12Vマイナスアース車に使用可能です。
 本製品の仕様は付属品を含め、改良の為予告なく変更することがあります。
- 本書は予告なく改版することがありますので、あらかじめご了承ください。

目次

はじめに	1	異常・故障時の対応	4
目次	1	本製品の仕様	4
安全上の注意	2	アフターサービスについて	5
パーツリスト	2	改訂の記録	5
取付方法	2		
動作と取扱方法	4		

安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用してお客様への危険レベルを示しています。本製品を正しくご使用、お取扱いいただくために下記の注意事項を必ず厳守してください。

警告 作業中又は使用者が死亡、又は重傷を負う可能性がある場合

注意 作業中又は使用者が傷害を負う危険が想定される場合（人損）
 拡大物損の発生が想定される場合（拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発された物的損害【例えば、車両破損及び焼損】）

警告

- 本製品及び付属品が運転の妨げにならないように取付けてください。
 運転操作ができなくなり、事故の原因となります。
- 本製品はDC12Vマイナスアース車専用です。24V車両には取付けしないでください。
 火災の原因となります。
- 使用中、本製品に異音・異臭等の異変があった場合には、本製品の使用を直ちに中止し、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
 そのまま使用すると、感電や火災の原因となります。

注意

- 本製品及び付属品の加工・分解・改造等の誤使用及び修理は絶対に行なわないでください。
 感電及び車両の破損・焼損の恐れがあります。
- 精密電子機器の為、落下等の強いショックを与えないでください。
 作動不良を起こし、車両を破損する恐れがあります。
- オイル・水等の異物が混入しないようにしてください。
 作動不良を起こし、車両を破損する恐れがあります。
- 断線・ショート・誤配線のないように取付けてください。
 感電及び車両の破損・焼損の恐れがあります。
- 車両及び本製品の本来の性能が損なわれている場合には、速やかに点検・整備を専門業者に依頼してください。
- 日常点検はドライバーの責任です。必ず実施してください。

パーツリスト

本製品は、下記の部品で構成されています。
 取付け前に異品・欠品のないことをご確認ください。

1 本体	2 付属品	3 IG信号取出しハーネス	4 取扱説明書

取付方法

1. OBD II カプラー位置の確認

HKS ホームページ下記アドレスの“OB-LINK 設定・適合表”より、該当車両の OBD II カプラー位置を確認します。

<http://www.hks-power.co.jp/product/electronics/monitor/ob-link/>



2. アプリケーションのインストール

- ① “OB-BRIDGE” のインストール (Android のみ)
- ② “CarscopePlus” のインストール
- ③ “OBLink LogManager※” (2014/6 リリース) のインストール
 ※OB-LINK TYPE-001 のログ機能をご使用になる場合。
 アプリケーションは、ストア検索か 1 のアドレスよりダウンロードします。

3. Bluetooth設定 (ペアリング)

- ① 使用する端末の Bluetooth を ON にします。
- ② 1 で確認した OBD II カプラーに、OB-LINK TYPE-001 を接続します。
- ③ キースイッチを “ON” にするか、エンジンを始動させます。
- ④ 使用する端末の新規デバイスの登録等から、ペアリングを行います。パスキーは「7181」です。

4. アプリケーションの初期設定

CarscopePlus 起動させ、“設定” をタップします。

- ① “デバイス設定” をタップします。
 ペアリング済みの “OB-LINK 001” を選択します。
- ② “車両通信タイプ” をタップします。
 OB-LINK 001 を接続する車両に合わせて、車両通信タイプを選択します。車両通信タイプは、“OB-LINK 設定・適合表” を参照してください。(1 のアドレスと同じ)
 設定が成功すると、OB-LINK TYPE-001 本体の LED が下記のように点灯します。



赤 LED
 点灯：デバイス設定 OK
 点滅：デバイス設定 NG

緑 LED
 点灯：車両通信タイプ OK
 点滅：車両通信タイプ NG

OBD II カプラーに OB-LINK TYPE-001 を接続した状態で、“デバイス設定” と “車両通信タイプ設定” が正常に行われないうまま 2 分以上経過すると、OB-LINK TYPE-001 の電源は OFF になります。
 その後再設定をする場合は、OBD II カプラーから取外し、再接続後、①②を行ってください。

5. IG信号線の確認

OB-LINK TYPE-001 の累積走行距離を ODO メータのように使用する場合は、IG 信号線の接続が必要です。OBD II カプラーに IG 信号線がある車両があります。その場合は IG 信号線の接続は不要です。下記①②のいずれかで IG 信号線の確認をします。

① OBD II カプラーでの確認

図のように上段の一番右端に端子が挿入されているか確認します。



IG 信号
 端子あり = IG 信号線あり
 端子なし = IG 信号線なし

② CarscopePlus で確認

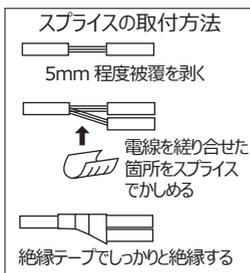
CarscopePlus を起動させ “設定”、“IG 信号線確認” の順でタップします。

- “IG 信号線確認 OK です” = IG 信号線あり
- “IG 信号線が接続されているか、車両通信タイプが合っているか確認してください。” = IG 信号線なし

OBD II カプラーに IG 信号線がない場合は、6. IG 信号線の接続を行います。

6. IG信号線の接続

- ① OB-LINK TYPE-001の赤色ハーネスのギボシを取り外します。
- ② ①のメスギボシに、付属品のIG信号取出しハーネスを接続します。
- ③ 車両のIG信号線（シガライタープラグの電源線等）を確認します。
- ④ ②のIG信号取出しハーネスを③にスプライスを使用して接続します。



7. OB-LINK TYPE-001の固定

運転の妨げにならない箇所に、付属のマジックテープ等を使用しOB-LINK TYPE-001を固定します。

動作と取扱方法

- OB-LINK TYPE-001は、アプリケーションの起動やエンジン始動（エンジンコントロールユニット電源ON）を検出すると、自動起動します。エンジン停止（エンジンコントロールユニット電源OFF）かアプリケーションの終了、Bluetooth切断のいずれかの状態を検出すると、自動終了します。
- エンジンシステムの異常が検出されると、端末に故障コードが表示されます。その際は、HKSプロショップや専門業者にご相談ください。

⚠ 注意

- OB-LINK TYPE-001や配線に水がかからないようにしてください。OB-LINK TYPE-001や配線に水がかかると、動作不良を起こし、車両やOB-LINK TYPE-001を破損する恐れがあります。
- 車両を長期間（2週間以上）使用しない場合は、OB-LINK TYPE-001を取外してください。バッテリー上がりの要因となる可能性があります。OB-LINK TYPE-001の待機電流は約0.2mAです。

異常・故障時の対応

⚠ 注意

- 使用中、本製品に異音・異臭等の異変があった場合には、本製品の使用を直ちに中止してください。そのまま使用すると、感電や火災の原因となります。
- 故障等の修理は、お客様ご自身では絶対に対処せず、必ず専門業者に依頼してください。

故障の際は、保証書に必要事項等が記入・捺印されていることをご確認し、保証書に症状をご記入のうえ専門業者に修理を依頼してください。

本製品の仕様

- 作動電圧…………… DC10～16V
- 動作可能温度…………… -20～75℃
- 最大消費電力…………… 1.12W

アフターサービスについて

本製品に関するお問い合わせ等は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

改訂の記録

Ver.	日付	記載変更内容
3-1.01	2014. 4	初版